

社会人医学教育部門 主催セミナー：「痛み」コース

	第一日(20日)	第二日(21日)
午前		9:00-10:00 講義と実習：脳神経外科的治療法（脳神経外科） 10:15-11:15 講義：漢方治療（漢方医学講座） 11:30-12:15 患者様との意見交換
昼食		12:15-13:15 昼食（病院食）
午後	13:00-13:30 オリエンテーション・真下教授ご挨拶 （疼痛医療センター長） 13:30-14:30 講義：痛みとは（疼痛医学講座） 14:45-15:45 講義：脊椎疾患と疼痛—腰椎疾患を中心に— （整形外科） 16:00-17:00 講義・実習：幻肢と幻肢痛（麻酔科） 17:15-18:30 疼痛医療センター・カンファレンス	13:15-14:15 講義：緩和ケアチームとがん看護専門看護師の活動 （緩和ケアチーム） 14:30-15:30 講義：緩和ケアとがん疼痛治療（緩和医療講座） 15:45-16:45 講義：頭痛（市立西宮中央病院・麻酔科） 17:00-17:30 総合討論 17:30-17:50 修了式
夕	18:45-20:30 懇親会	

腰痛、頭痛など、慢性の痛み苦しんでいる人々は多く、厚生労働省が報告している有訴率では、腰痛が第一位、肩こり、手足の痛み、頭痛など痛みに関連する症状は上位10の症状のうちの4つを占めています。また、癌に伴う痛み、帯状疱疹後神経痛、脳卒中後に遷延する痛みなど、強い痛みが長期に続き、痛みそのものに対する治療が必要な病態も少なくありません。従来の臓器別診療に加えて、「痛み」という症状を対象にした医療の必要性がますます高まっています。大阪大学医学部付属病院の疼痛医療センターでは「痛み」という症状に対して、関連した多くの診療科が集まり集学的なアプローチを展開しています。本セミナーでは疼痛医療センターのメンバーに、痛み治療の現況と最前線の話をしていただきます。